



# ともしび

— TO MO SI BI — 第232号

2015(平成27)年8月号

## 盂蘭盆会

梅雨が明け、いよいよ夏本番となりました。これから気を付けなければならぬのは熱中症です。しっかりと予防いたしましょう。

さて、世間一般では、8月がお盆の時期と言われていますが、東京では7月にお勤めされることもあるようです。そもそも、「お盆」という仏事は「盂蘭盆経」(うらぼんきょう)というお経に由来すると言われています。

お釈迦さまのお弟子の目蓮(もくれん)尊者がある日、ご自分の亡くなったお母さまの事が気になり、神通力で探してみたところ、お母さまが餓鬼道で苦しんでおられる事がわかりました。そこでお釈迦さまに相談すると、安居(あんご)という雨期の聞法会が終わったときに、聞法に精進した衆僧を招いて供養するようにいわれ、それにしたがって衆僧供養を行ったところ、お母さまが餓鬼道から救われたといえます。

このお話が元となり法会が行われるようになり、先祖の霊を供養する行事へと変化していきました。

母親を餓鬼道へと落としたのは、他ならぬ子どもである目蓮尊者自身だったのです。我が子を可愛がる親の愛情の中には、可愛さ余って我が子のことしか目に入らず、我が子のためには人を陥れてでも子どもの幸せを願い、時には鬼にも餓鬼の姿にもなるエゴイズムが潜んでいます。その母親を救う道はただ一つ、子どもが親の本当の願いに応じて生きる人となることです。

親の本当の願いとは「人間に生まれたい意義と真の喜びに目覚めて生きる」人となってほしいということだと思えます。その事に目覚めさせられる道が「聞法」なのです。お釈迦さまが「衆僧供養せよ」と説かれた本意は、「聞法を大切にせよ」ということなのです。

お盆になると先祖の霊がこの世に帰ってくるように言われていますが、私たちの先祖はお盆の間だけ行ったり来たりするようなものではありません。私たち浄土真宗では、お盆をお迎えするにあたり、亡き先祖を通じて、数限りない先祖によってこの私のいのちが恵まれたことを慶び、仏法を聴聞するご縁をいただくのです。

お盆は先祖供養の期間ではなく、亡き人を偲びつつ、お念仏となって私の口に届いてくださる仏さまのおはたらき、お心を聞かせていただく大切なご縁です。当会館におきましても、8月9日にお盆の法要が勤まります。是非、お参りいただきますようご案内申し上げます。

さて、お盆の季節になると中学1年生の時、自坊で初めてお盆参りの手伝いをしたことを思い出します。自坊では毎年8月にご門徒のお宅へお盆参りに伺います。初めての経験で、自分では着られないので母に僧侶の衣を着せられ、当時住職であった父親に車で連れられ、ご門徒のお宅へ行き、慣れないお経をたどとしくお勤めしていました。お参りが終わるとご門徒の方は喜ばれてジュースやお菓子などをご馳走してくださいました。

当時、通っていた中学校の校則で男子生徒はみな丸坊主だったので、その時の姿はアニメの「一休さん」そのものでした。同級生にこんな姿を見られたら恥ずかしいと、コソコソ人目を避けるようにお参りに歩いていったことを懐かしく思い出すことです。

# 仏事あれこれ

## 一口法話

「キラキラネーム」という言葉があります。これは赤ちゃんに付けられる名前でも一風変わった漢字や読みの名前のことを言います。

昨年付けられた赤ちゃんの名前で人気があったのは、男の子が「大翔」で女の子が「陽菜」だそうです。しかしこの読みがそれぞれで、男の子の場合（ヒロト、ハルト、ソラ、タイガ）で、女の子の場合（ヒナ、ハルナ、ヒナノ）など同じ漢字でも読み方が違うのです。また「愛猫」と書いて（キティ）という名前を付けたら、「黄熊」と書いて（プウ）という名前を付けた子どももいるそうです。これは名付けのとき、「先に読み方（フレーズ）を優先して後で漢字を当てているため、漢字だけでは読みにくい名前になっている」と以前テレビで専門家が仰っていました。

これらの名前の是非を問うつもりはありませんが、いずれにしても子どもに付ける名前には、こんな子どもに育ってほしいという親の願いが込められます。しかし、その思いとは裏腹

に子どもが成長していくと反発して、なかなか思い通りに育ってはくれません。つい親の都合で子どもを叱りつけてしまい、後悔することがあるのではないのでしょうか。

阿弥陀さまのおはたらきを親のはたらきに喩えられることがあります。阿弥陀さまは迷いの世界に生きる私たちを決して見捨てることなく、私たち一人ひとりを我が子のように思い、「我にまかせよ、必ず救う」という大いなる願いのもと「南無阿弥陀仏」というお念仏となって私たちの口に届いてくださるのです。

さて、先月号にてご紹介した通り、我が家に第2子となる男子が誕生いたしました。名前は「泰観」（たいかん）と申します。キラキラネームかどうかは皆さまのご判断に委ねることにしまして、これからも、家族一同よろしくお願いたします。



姉弟関係構築中？

## 仏事のQ&A

Q. 亡き人はどこへ行った？

A. 「亡き人は阿弥陀仏の救いによって浄土へ生まれ、仏さまになられている」と味わいます。そしてお仏壇はお浄土を表しているのです。

亡き人は、お仏壇のどこかにおられるのではなく、阿弥陀さまの浄土に生まれ、仏さまとなっていつでもどこでも私たちに寄り添い、一人ひとりを輝かせようとはたらいておられます。お仏壇はその亡き人が生まれた浄土を表しているのです。

お仏壇で阿弥陀さまを仰ぎ、お心を受け取っていくことが、そのまま亡き人の心になつていくのです。

『新・仏事のイロハ』より抜粋

### 平成27年 年回法要表

| 年忌法要 | 死亡年           |
|------|---------------|
| 1周忌  | 平成26年         |
| 3回忌  | 平成25年         |
| 7回忌  | 平成21年         |
| 13回忌 | 平成15年         |
| 17回忌 | 平成11年         |
| 23回忌 | 平成5年          |
| 27回忌 | 平成元年<br>昭和64年 |
| 33回忌 | 昭和58年         |
| 37回忌 | 昭和54年         |
| 50回忌 | 昭和41年         |

# 7月行事の様子

## ★常例法座 7月12日(日)

13:00より法要をお勤めし、ご講師・倉上学法師よりご法話をいただき、20名の皆さまにお参りいただきました。

### 法話

↓ご講師の  
倉上学法師



↑ 7月のお誕生日おめでとうございます。  
これからも元気にお参りください。

### 法要



↑皆さまと一緒に  
正信偈を声高らかに  
お勤めしました。

## お知らせ *information*

### 観劇 『如月の華』 前進座特別公演 —九條武子ものがたり—

日時：2015年10月6日(火) 11:00開演

場所：浅草公会堂

参加費：奉讃会会員 5,000円

一般の方 8,000円

定員：15名(定員になり次第締切いたします。)

九條武子夫人は、本願寺第21代門主・明如上人の次女として生まれ、与謝野晶子・柳原白蓮とともに大正の三大女流歌人と謳われ、仏教婦人本部長として関東大震災の被災者救援、女子教育・女性の地位向上にもご尽力され、わずか42才でお亡くなりになりました。

2017年に夫人の90回忌をお迎えするにあたり、お待ち受け企画として公演されます。

※観劇をご希望の方は、当会館までお申し込みください。



キャスト・配役  
九條武子…今村文美  
木辺孝慈…武井 茂  
九條良致…河原崎國太郎  
女中スミ…西川かずこ  
柳原白蓮…小林祥子 他



## ▶ 8月の行事予定

### キッズサンガー泊サマースクール

8月1日(土) 午後2時～

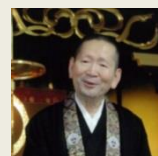
2日(日) 午前11時まで

お寺でたくさんのお友だちと泊まって、ゲームや花火、仏さまのお話を聞く一泊サマースクールを開催します。

### 孟蘭盆会・永代経法要

8月9日(日) 午後1時～

ご講師 山田 義俊 師  
(東京都 林光寺)



### 納涼懇親会

8月9日(日) 午後3時～

永代経法要を併修いたしますので、ご希望の方は同封の法名簿に必要事項を記載のうえ、ご持参ください。また、法要後の懇親会にもご参加ください。

### 親鸞聖人御命日お晨朝総参拝

8月16日(日) 午前7時～

月に1度、朝のお勤めにお参りしませんか？ お供物のおさがりをプレゼントいたします。

## ▶ 9月の行事予定

### 境内清掃

9月16日(水) 午前9時～

今年度より2カ月に1回程度、境内清掃を行います。ご協力よろしくお願いたします。

### 秋季彼岸会

9月23日(水) 午後1時～

ご講師 小林 教善 師  
(神奈川県 長念寺)  
お気軽にお参りください。



東久留米会館会報 「ともしび」  
第232号

発行日 2015年8月1日

発行者 安邊 泰教

住所 東京都東久留米市柳窪5-8-30

電話 042-474-678

**編集後記**

今月、いよいよ家族が築地の職員住宅から東久留米へと引っ越しします。東京に参りまして7年にして早くも5回目の引っ越しになります。手続きやら荷造りやら、何度やっても慣れませんね。(安)

**7月28日(火)**  
**境内清掃のお手伝い**

大嶋 弘様 神谷正弘様  
菅野ヨシコ様 田口康子様  
森澤忠和様 北川康雄様  
高田慶彦様 高田テルハ様

**今月のお仏飯米のご進納**

森澤忠和様 菅野ヨシコ様  
西 ユリ子様 田口康子様  
浅野由美様 神谷正弘様

**ありがとうございました。**